

2008 年度「未広がり（事業継承）を期待して」



会長 太田仙一郎

新年度がスタートいたしました。自動車業界では、トヨタが世界トップになり、喜ばしいことですが、一方で再びの自動車摩擦に対しての懸念もあります。自動車関連の中子については、期待もしながら動向に対して用心も必要という状況です。

このような環境の中でより一層の経営の効率化をしていく必要を感じています。特に団塊の世代の定年という 2007 年問題は依然として継続しており、大部分の企業が創業時から企業を支え、技術・技能を開発・改善してきた先輩がリタイアし、上手に技能・技術を伝承できなくなる危険性ははらんでいます。無いものは自ら作り出すというこの先輩たちのファイトと実績を次世代の後輩に伝えていくことは並大抵ではありません。技術・技能を伝承については、多方面で問題視をしており、いくつかの方法もあるようですが、簡単なことではありません。なんとか工夫して先輩たちの技術・技能と無いものは作り出すという「創造のスピリッツ」を次世代を担う人々に伝え、合わせて経営の効率化への取り組みの努力をしていきたいと考えています。

海外視察研修のご案内

常任理事会で提案されました海外視察を、今年度は工業立国としてめざましい発展を遂げているインドネシアの経済や文化を学ぶと共に、日本からの進出企業の見学を目的とし、トウチュウ静岡支店長のお世話で、幹事としては松下隆彦氏(株式会社松下工業社長)が担当で、概略以下のような計画をいたしました。

記

〈訪問日程〉6月26日(木)～29日(日)
 〈スケジュール〉

6月26日(木)…関空発 インドネシアへ
 27日(金)…工場見学
 28日(土)…観光後、夜便で帰国
 29日(日)…早朝関空着 解散

視察先1：トウチュウ様
 (コーテッドサンド製造ライン)
 視察先2：アルミ鑄造工場
 (シェル中子造型を含む)

※予定人数は10人前後ですので、お早目に幹事まで申し出下さい。

新会員の紹介

東北コアテック有限会社
 〒990-2453
 山形県山形市若宮二丁目 2-31
 代表 本間正弘

有限会社昭和シェルモールド
 〒719-1311
 岡山県総社市美袋 1471-1
 代表 河原 晋

呼松工業
 〒712-8052
 岡山県倉敷市松江 2 丁目 4-1
 代表 酒井久雄

有限会社松下鉄工所
 〒711-0934
 岡山県倉敷市児島塩生 479-1
 代表 松下勇三

有限会社エステイシステム
 〒899-4317
 鹿児島県霧島市国分上野原テクノパーク 11 番 46 号
 代表 小石豊秋

『バリ取り砥石・ホットメルト接着剤・グルーガンなどを扱っています。詳しい資料または問合せ先』は下記へ

株式会社 松下工業

TEL 0538-66-2222

FAX 0538-66-5909 担当 川尻まで



情報をお寄せ下さい。

会員の皆様のご意見・ご希望をお待ちしています。

会費の納入をお願いします。

事務局

第14回の定時総会開催報告

昨年、11月9日(金)に第14回日本鑄物中子工業会の総会を長野県の昼神温泉湯本ホテル「阿智川」の会議室で開催致しました。予定された議案も満場一致で可決承認、また岡山県鑄物中子工業会から新たに参加の新入会員も紹介され、無事に終了いたしました。

来賓の日本鑄物鑄造協会角田専務理事からは祝辞のあいさつの後、現在社会問題となっている「下請適性取引等の推進のためのガイドライン」と「安全作業」についての説明がありました。

当日は、JR名古屋駅西口に12時に集合し工場見学先に向けバスで出発しました。見学先は岐阜県の(株)マツバラ工場にお世話になりました。同社はISO9001・14001を取得、更に日本環境経営大賞(優秀賞)受賞、素形材センターより環境優良工場通産省局長受賞するなど、素晴らしい環境のもと、安全第一をモットーされてみえます。



総会の様子

また、中子レスを実現したグリーンボンドを自社開発、ハイテク匠の技として「バリ無し鑄物・加工性の良い鑄物材質・鑄抜方案技術の革新・寸法制度と材質の保証」として小物自動車部品を主に大幅なコストダウンを図っての対応もされてみえます。



(株)マツバラ



新入会員紹介

常任理事会開催報告

去る3月24日(月)に、愛知県名古屋市の「安保ホール」において、常任理事会を開催致しました。

その一部を紹介します。

各地の状況は大きくは横ばい状況にありながら、愛知では取引先7社もの鑄物工場の廃業がある一方で設備投資している鑄物工場も数社あり、勝ち負けの明暗がはっきりしてきている状況のなかで「中子屋の生き残りを真剣に考える必要がある」との話もありました。岡山では、工業会として統一書式で価格改定交渉を行ったところ高評価を得られたとの報告もありました。

また外国人労働者も増えるなか「安全」や「品質」に対しての新しい取り組みの必要が議論されました。

第15回定時総会開催計画は開催時期は例年通り10月下旬もしくは11月初旬とし、開催場所は新潟か愛媛の見学先等を調整していこうという方向になりました。事務局で候補地の最終決定を任せられました。

経済産業省等への対応については種々要請がある中で各々のホームページで参照して下さい。

・倫理法・倫理規定に係わる協力依頼
 →<http://www.jinji.go.jp/rinri/siryoku/gimon.pdf>

・下請取引ガイドラインの普及啓発
 →<http://chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/>

また、JFS(日本鑄造協会)からは会議への参加要請があり出席することとしました。

その他としましては、海外視察研修を検討する。事務局要員の交替。山口正彦が退任し古山正樹が就任することとなりました。よろしくお祈りします!

◆編集後記◆

事務局の都合で中子 News「新春号」の発行がなくなり、また今回も遅くなりましたこと、誠に申し訳なく改めてお詫び申し上げます。